

# 広大生と学長との意見交換会

## 学生からの意見と浅原学長からの回答

\* 抜粋版は、広報誌「HU-style」2009 年 4 月号に掲載しています。

### 1 カリキュラム・授業などについて

#### 履修登録について

①他学部の授業が履修しにくい。②学びたい授業と必修科目の時間が重なることが多い。③開設期の指定があつて、高年次の開設科目を履修できない。もっと自由に履修できるようにしてもらえないでしょうか。(学部生)

**A.** 時間割編成上、制約が多くなっていますので、自分が履修すべき時間割の空きコマの中で、他学部の授業科目を適切を選んで履修する工夫をお願いします。

また、高年次の開設科目の履修については、教育課程を体系的に編成し、その教育効果なども考えたうえで、開設期を指定しています。ただし、3年間での早期卒業を認める学部では、所定の要件のもとで手続きを行うことにより、上位セメスターの授業科目の履修が可能となる取り扱いなどもありますので、チューターや各学部の学生支援室に相談してください。

#### 英語教育について

全学一斉 TOEIC(R) IP テストが実施されていますが、学ぶことの目的や必要性が理解されていないように感じます。また、卒業まで体系的に学べる仕組みが必要ではないでしょうか。(大学院生)

**A.** 広島大学では、学生が自分の英語力を客観的に把握して授業や進路に活かすことと、教育の質を高めることを目的として、TOEIC(R) IP テストを実施しています。また、英語を体系的に学べるよう、教養教育必修科目以外に「上級英語」などの科目を単位不要で開設しています。その他「オンライン TOEIC 準備講座」や「英語プロフェッショナル養成特定プログラム」など多様な授業を提供していますので、ぜひ活用してください。

#### 他学部の授業の履修について

他学部の授業科目を履修することができる(広島大学通則第25条)ことを、もっと新生に知らせるべきだと思います。(学部生)

**A.** 新生対象ガイダンスなどの場で、新生への周知をより強化していきます。また、副専攻プログラムや特定プログラムは、他分野などについて体系的に効率よく学べるよう工夫された広島大学特有のシステムなので、積極的に活用してください。

#### 双方向授業について

同じ日に東広島と東千田の両キャンパスで授業を受けると、移動時間や交通費の負担が大きいため、もっと双方向授業を取り入れてほしいです。(学部生)

**A.** 移動の問題を解消するため、双方向授業システムを導入していますが、遠隔授業は、教育の質の保証という面に注意をはらって授業を計画・実施する必要があります。実施方法を工夫して双方向授業を増やすことが可能か、法学部、経済学部それぞれの教務委員会で検討していきたいと思っています。

## 1 カリキュラム・授業などについて (続き)

### 環境問題への取り組みについて

東広島市と広島大学が協力して、もっと環境問題に取り組んでいくべきではないでしょうか。また、環境について学習する機会を広く学生に提供してほしいです。(大学院生)

**A.** 東広島市4大学連携協定を活用し、環境問題に取り組んでいきます。また、「環境」をキーワードにした教養教育科目も開講されているので、「もみじ」のシラバスで検索してみてください。

### キャンパス間の交流について

東千田キャンパスと東広島キャンパスの間で教員や学生が交流できる機会を増やしてほしいです。例えば、マネジメント専攻と工学部(MOT)で、理論と実践が融合できるような場があればいいと思います。(大学院生)

**A.** マネジメント専攻では、産学連携センターを通じて相互の連携講座や講師派遣などを継続して行い、工学系との交流を行っています。また、インテレクチュアルカフェの開催など、知識融合を促進させる活動を推奨していきたいと考えています。

### 法医学・医療裁判コースの設置について

医療裁判に対する法的解決能力と、医学・医療における法学的知識を兼ね揃えた人材を育成するため、法学部と医学部の連携による新コース(法医学コース、あるいは医療裁判コース(大学院))の設置を提案したいと思います。(学部生)

**A.** 医学部では、日々進歩する医学・医療の知識や問題解決能力を有する高度専門職医療人を養成し、地域医療の充実にも資する人材を社会に提供することが緊急の課題となっています。当面は、法医学コースなどの設置予定はありませんが、今後、カリキュラムを見直し、その充実を図るべく検討します。

### 経済学部夜間主コースの授業について

ゼミの時間が少ないので、増やすことはできないでしょうか。(学部生)

**A.** 法学部夜間主コースのゼミは3・4年次に半期単位で開設されていますが、経済学部夜間主コースは通年で3年次のみであり、ゼミ時間が少ないのは事実です。学生の声を取り入れて、学びやすいカリキュラム編成がなされるよう、点検・評価を行うとともに、学士課程教育の充実に向けて、経済学部の教務委員会で検討していきたいと思います。

### 医学部の授業について

歯学の科目がカリキュラムに組み込まれていないため、選択科目などを置いて、学ぶ機会を提供してほしいです。(学部生)

**A.** 医学部の選択科目に歯学の科目を加えることについては、学生の希望や医学教育上の価値を慎重に判断し、今後の対応を検討します。

### 成績評価について

自学自習で必要な知識を身につけているので、授業にはほとんど出席していません。そのため、授業への出席を重視する科目では、成績評価が低くなります。試験の成績で適正に評価してもらうことはできませんか。(学部生)

**A.** 出席状況と単位修得(成績評価)の関係ですが、15回の講義と予習・復習を含めた学習に基づき、試験で評価することを前提に単位認定を行っていますので、当然、授業への参加状況も必要な要素となります。

### 休憩時間について

授業の間(休憩、移動時間)が15分しかないため、授業終了後、先生に質問していたら、次の授業に間に合いません。以前のように20分取ることはできないのでしょうか。(学部生)

**A.** 広島大学の学習環境等を考慮して決定した時間割になっています。授業に関する質問などについては、教員のオフィス・アワーや、西図書館3階の学習支援室(授業理解のアドバイスを行う)などを活用する方法もあります。

## 2 課外活動などについて

### 課外活動施設について

- サークル活動をしていますが、専用の部室がありません。課外活動団体に専用の部室を提供してほしいです。(大学院生)
- 課外活動共用施設が手狭で、十分な練習ができません。サークル棟や音楽活動スペースを増設してほしいです。(学部生)

**A.** 現在、登録団体が232団体あり、希望する全ての団体に部室を提供することは不可能です。教室を課外活動に使用することもできますので、本部棟の学生総合支援センターと相談してください。今後は、学生プラザの建設に伴う空き部屋を、学生交流の場として整備したいと考えています。

### 体育会、大学祭実行委員会の運営について

- 広島大学体育会の加入者が年々減少しているため、物品の購入などに支障が生じており、運営が困難な状況です。(学部生)
- 大学祭実行委員会の運営についても、体育会と同様の事態が起きています。(学部生)
- 東千田キャンパスの大学祭(千夜祭)を復活させたいのですが、大学から補助金を出してもらえないでしょうか。(学部生)

**A.** 現在、課外活動団体助成の一つとして、サークルへの希望物品援助を行っています。東広島地区のサークルへの援助額を基に、霞・東千田地区の課外活動団体への支援も行っていきますので、例えば、千夜祭実行委員会が復活した場合は、東千田キャンパス課外活動団体の一つとして希望物品援助を受けることは可能です。また、要望があれば、学生・教育のために使うことを条件として、校友会からの助成金援助を検討していきたいと思います。

### ボランティア連合体について

ボランティアサークルの連合体を立ち上げて、今後は地域との連携・交流を図っていきたく考えています。学内にある類似の取り組みをまとめて、わかりやすい形で地域社会へ発信していく必要があるのではないのでしょうか。(学部生)

**A.** 今後、現在教育学部8Fにあるボランティア連合体をより充実させていくため、学生ボランティア団体との意見交換会を密に行いながら、学内外への情報発信を含めた運営方法等を検討する予定です。

### 大学祭について

大学祭では、広いキャンパスで多数のイベントや企画があるため、大学全体の調整機関が必要ではないのでしょうか。(学部生)

**A.** 大学祭実行委員会主催の大学祭での学部企画などは、学生総合支援センターで取りまとめを行っています。今後も、学生総合支援センターが中枢となって、学部などと連携を図りながら、取りまとめ・調整を行います。

### 東千田キャンパスの課外活動施設について

- 課外活動施設(音楽活動室)が大学院生の自習室に改修されたため、早急に練習室の設置をお願いします。(学部生)
- A.** 東千田キャンパスの施設は、大学院生・留学生の増加等への対応によりスペースが不足しているため、「知の拠点」構想及び財政状況なども考えながら、計画的整備を図る必要があります。現在は、緊急措置として学外にあるスタジオを借りて対応していますが、今後の対応策については、関連部署等と協議しておりますので、今しばらくお待ちください。
- 東千田キャンパスの体育館の利用は、平日21:15~22:15までとなっています。夜間主コースは、21:10まで授業があるため、十分な部活の練習ができません。体育館の使用について、23:30まで認めてもらえないでしょうか。(学部生)
- A.** 深夜の施設管理(施錠、電気、空調、火気、ゴミなど)や、事件・事故防止及び怪我などへの対応方策なども含めて検討し、関係部署と十分相談のうえ、時間延長の可能性を探りたいと思います。

## 2 課外活動などについて (続き)

### オリエンテーションキャンプ (オリキャン) について

各学部で実施されるオリキャンは、悩みを持った学生にとっても、友達づくりの場として非常に有効な学部行事であると思いますが、ある学部では、自粛する方針になっています。オリキャンで得るものも大きいため、再開できるようお願いします。(学部生)

A. 学生のオリキャン実行委員会が自粛を決定したものです。新入生同士や新入生と先輩との交流という視点から、オリエンテーションキャンプの必要性を伝えていくなど、関係者の理解が得られるよう努力し、学生自ら判断してください。

## 3 福利施設について

### 学生食堂について

●留学生にも配慮した味付けやメニューを提供してほしいです。(学部生)

●食堂の衛生管理を徹底していただくようお願いします。(大学院生)

A. 予算の制約などにより実現が困難な場合もありますが、安全な食材を、美味しく、リーズナブルに提供してもらえるよう生協に要望していきたいと思います。また、生協の各コープショップ・食堂にある「ひと言カード」と回収箱も活用してみてください。

●昼食時には食堂が大変混雑し、昼休みの時間内に食事を取ることが難しいため、混雑解消の対策をお願いします。(学部生)

A. 昼食時の混雑を少しでも緩和するため、マーメイドカフェやコンビニを設置しました。また、北1食堂前、西2食堂前にお弁当SHOPをオープンするなど工夫していますが、根本的な解決には至っておりません。食堂は飲食だけでなく、自習、休憩、コミュニケーションの場として活用されていることから、今後は、学生のニーズに応えられるよう施設の改修、改善に努めます。

## 4 経済支援について

### 授業料免除、奨学金制度について

●私費留学生は生活が苦しく、毎年、授業料免除が採用される保証もないため不安な気持ちで学生生活を送っています。授業料免除枠拡大など経済的な援助をお願いします。(大学院生)

A. 経済的困窮学生への経済支援を拡大するため、広島大学独自の奨学金を充実する必要があると考えています。そのために、今後も広島大学基金の充実を図っていきます。また、学内でのアルバイトを増やすことなどについても検討しています。

●法務研究科の学生は司法試験合格を目指して緊張感を持って勉強していますが、授業料が高く、勉強に必要な本代などの負担が大きいため、やむを得ずアルバイトをしています。勉強に専念できるよう学費免除などの支援をお願いします。(大学院生)

A. 上に同じく、本学独自の奨学金の充実を図り、学生が安心して勉強に専念できる環境作りにも努めます。また、特に大学院生については、日本学生支援機構の奨学金制度が充実しており、成績優秀者に対する免除制度もありますので是非活用してください。

## 5 進路・就職活動について

### 文系大学院生への就職支援について

理系院生向けのキャリアフォーラムが開催されましたが、文系のドクター向けのセミナーも開催してほしいです。(大学院生)

- A. 学生の要望を踏まえ、各研究科のニーズを把握したうえで今後の対応を検討したいと考えています。また、文系・理系を問わず、博士学位取得予定者・ポスドクなどのキャリアパス多様化を積極的に支援していきます。

## 6 相談窓口について

### 学生支援窓口について

事情により授業を欠席する時に、窓口で担当教員の連絡先を伺いましたが、日本語が通じない新任の外国人教員であるなどの理由で連絡先が分からず、無断で授業を休んだことがあります。もう少し対応を考えてください。(学部生)

- A. 職員研修などを強化して、学生サービス向上に努めます。また、学生プラザの創設を契機に、最適な学生サービスを提供するための学生支援窓口の整備を行います。

### 他大学出身者へのサポートについて

他大学から広島大学の大学院へ入学してきた際、書類の提出や「もみじ」での履修登録などに苦労しました。相談できる職員や教員のサポート体制を整えてほしいです。(大学院生)

- A. 大学院入学生対象のガイダンスを実施していますが、他大学出身者の方にも分かりやすい内容となるよう、配付資料や説明方法などの改善を図っていきます。また、ご不明な点があれば、各研究科の学生支援室にご相談ください。

### 授業料振込用紙について

授業料の納付関係書類が保護者の住所へ送付されていますが、自ら学費を支払っている社会人学生については、学生本人の住所へ郵送してもらうことはできないのでしょうか。(学部生)

- A. 現在は、入学時に提出いただく「学生情報登録シート」の中に授業料振込用紙の送付先を明示いただくようになっており、確認して登録しております。何らかの事情で送付先の変更を希望される場合は、各学部の学生支援室で手続きしていただくようお願いいたします。

### 不登校学生への支援について

不登校の学生を大学に呼び戻したいと考えています。同じ悩みを持つ者同士が話し合っ解決できる仕組みを作り、学びたいのに学ぶことができない学生を支援することは可能でしょうか。(大学院生)

- A. 広島大学では、平成12年からピア・サポート・プログラムを実施しており、1年間の訓練を受けてピア・サポーターに認定されたボランティア学生による学生の支援を行っています。ただし、この支援は、ピア・サポート・ルームへ自主的に来談した学生に対するものであり、不登校学生の支援まで十分には至っていません。今後は、この取り組みを拡充することの可能性についても検討したいと思います。

### メンタルヘルス相談について

予約が取りにくく、長期間待つことがあります。専門の先生を増やすことはできないのでしょうか。(大学院生)

- A. 平成21年度から医師を1名増員しました。今後も、速やかな対応がとれるよう努力していきます。

## 7 学習環境などの整備について

### 図書館・福利施設の時間延長について

- 最終時限終了後の学習・研究環境確保のため、図書館の利用時間の延長をお願いします。(学部生・大学院生)
  - コンビニ、生協など深夜まで営業する施設がほしいです。(大学院生)
- A. 深夜の施設管理(施錠、電気、空調、火気、ゴミなど)や、事件・事故防止などについて関係部署と十分相談のうえ、時間延長の可能性を探りたいと思います。また、コンビニなどの24時間営業については、経営面からも難しいということもご理解ください。

### 教室の使用について

広島大学には、日本語のわからない中国人留学生が多いため、個人的に手助けしたいと考えていますが、日本語を教えてあげるための場所がありません。(学部生)

- A. 授業以外の目的で教室を使用する場合には、総合科学部15箇所(講義室)で対応しています。申し込み受付は学生会館事務室で行っています。また、それぞれの所属学生に教室を開放している学部もありますので、各学部の学生支援室で使用条件などを確認のうえ、利用してください。

### 法務研究科修了生の学習環境について

法務研究科修了生は、相談できる教員が近くにいる、他の受験生と同じ環境で勉強したいという希望を持っています。修了生は、17時以降の教室利用が制限されているため、自習室の増設及び教室利用時間の拡大をお願いします。(大学院生)

- A. 東千田キャンパスの施設は、大学院生・留学生の増加等への対応によりスペースが不足しているため、財政状況なども考えたうえで、計画的整備を図る必要があります。対応策について、関連部署などと協議しておりますので、今しばらくお待ちください。

### 留学生の学習環境について

マネジメント専攻では留学生が増え、自習室のパソコンが中国語に切り替わって使えなくなるなどトラブルも発生しています。留学生専用のパソコン及び留学生の居場所をつくってもらえないでしょうか。(大学院生)

- A. マネジメント専攻では、平成21年度からアジアマネジメントプログラムがスタートすることに伴い、留学生の修学環境の整備が緊急の課題となっています。専用のパソコン設置などの設備整備については、早急に対応していきます。

## 8 キャンパス整備について

### 東広島キャンパスの外灯について

夜間はキャンパス内が暗いため、事件・事故に遭わないためにも外灯の整備をお願いします。(学部生)

- A. 調査の結果、電球切れや機器の形状により外灯間で暗い箇所がありました。また、駐輪場、キャンパス外周に面した公道で暗い箇所があるため、今後、予算を確保しながら、計画的に外灯の増設・整備を行います。

### 東広島キャンパスの案内表示について

キャンパスが広く、学外から来た人には建物の配置などがわかりにくい、どこから見ても、どの建物かわかるようにできません。(学部生)

- A. サイン(案内表示)環境の見直しを行い「広島大学サインガイドライン」を作成しました。平成21年度から、「サインガイドライン」に基づき、誰にでもわかりやすい案内表示を計画的に整備していきます。

## 8 キャンパス整備について (続き)

### 東広島キャンパスの桜について

広島大学には約千本の桜の木がありますが、桜ウィークなどを開催して広く地域に公開してみてもはいかがでしょうか。(学部生)

- A. 広島大学では、大学内外の協力を得て植樹が進んでいます。まだ若木であるため、対外的にどれだけアピールできるかわかりませんが、広大キャンパスが見事な「桜の名所」の一つとなり、市民との交流が盛んになることを期待しています。

## 9 学生支援全般について

### 学生プラザについて

学生プラザの建設計画などについて教えていただけませんか。また、学生からの意見や要望などは提案できないのでしょうか。(学部生)

- A. 「もみじ」及び広島大学ホームページの「お知らせ」で、進捗状況に関する情報を提供できるよう整備します。また、各学部などに出向いて、学生からの意見を聞いていますが、今後は、メールによる受付も行いますので、ご意見をお寄せください。

学生プラザについて、詳しくは「HU-style」2009年4月号をご覧ください。

### 留学生支援について

東千田キャンパスは、東広島キャンパスに比べ、宿舎支援、生活支援及び就職支援など留学生への支援体制が整備されていないように感じます。同じ広島大学の留学生として、同様の支援が受けられるよう、もっと支援を充実させてほしいです。(大学院生)

- A. 現在、東千田及び霞キャンパスの留学生支援を含めた学生支援体制を強化するための検討を行っています。また、平成20年12月から、IP電話による「オンラインキャリア相談」(要予約)を開始しました。さらには、双方向テレビ会議システムによるキャリアガイダンスやセミナーも実施しています。今後もさらに、学生支援の拡充に努めていきます。